

# デジタルの力であなたの幸せマシマシ大作戦！！ ～京都のまちで自分らしく生きる～

京都DXラボと  
一緒に考えよう！



市民協働ファシリテーター養成研修  
DXチーム：吉田・鈴木・村田・宮村・伊津野

## デジタルの力であなたの幸せマシマシ大作戦！！ ～京都のまちで自分らしく生きる～

- 開催日時：2022年11月22日（火）10:00～12:00
  - 開催場所：京都御池創生館 地下1階
  - 参加者：13名
  - 一般参加（市民）：2名
  - 鎌倉市職員：1名
  - 京都市職員：10名
- （本研修受講生、一般参加職員）



## 開催背景

- 京都市では、「市民サービスの向上と行政の効率化」や「新価値を創造し都市の成長に繋げる」等の理由から、市政のあらゆる分野においてDXを推進している。
- そのための重要な取組の一つとしてDXの担い手としての職員の育成・確保に重点的に取り組んでおり、その一環として「京都DXラボ」が設置され、今年度から本格的に動き出している。
- その「京都DXラボ」がどのような仕組みや工夫で活動していくべきかを考える必要がある。

## 本ワークショップにおける問いとゴール

- **問い** : **デジタルの力であなたの幸せマシマシ大作戦**  
**～京都のまちで自分らしく生きる～**
  1. 私の幸せを阻むアナログの壁
  2. DXが進めばどんな幸せがマシマシされる？
  3. 京都DXラボにデジタル化してほしいもの！
- **ゴール** : 参加者にDXについての知ってもらおう  
(壁を取っ払う)  
DXラボの活動を活性化するためのヒントを得る



円になって対話



テーブル対話



ストーリー作成・発表

## 1. アイスブレイク

- ワークショップの進め方、ルールの説明
- 参加者の自己紹介、テーマ所管課から想いの共有

## 2. 円になって対話（フィッシュボウル）

- 「〇〇の面倒なことがデジタル化したら嬉しいのに！わたしの幸せを阻むアナログの壁」

## 3. テーブル対話（ワールドカフェ）

- 「〇〇でDXが進めばどんな幸せがマシマシされる？」

## 4. アイデア出し（ブレインストーミング）

- 「京都DXラボにデジタル化してほしいもの！」

## 5. ストーリー作成・発表(クイックプロトタイプ)

- 「デジタルを最大限活用して、一人ひとりの幸せがマシマシした京都市が爆誕した！」 →即興劇で発表

## 6. クロージング

- テーマ所管課とファシリテーターから一日の振り返り

アナログの壁①

不便

※気づき※

アナログ = 悪

DX (デジタル) = 善

の構造化はできない！

# アウトプットサマリー： 京都DXラボにデジタル化してほしいもの！

## 仕事

- ・ 全庁共有カレンダー
- ・ 問合せ先のキーワード検索
- ・ 上手に回覧版を回覧できるツール
- ・ バスの混み具合が分かるシステム
- ・ どこに何があるかが分かるシステム

## 家庭

- ・ 保育園の空き状況
- ・ 病院診療科の一覧
- ・ 役所案内アプリ
- ・ 意見募集ツール  
(パブコメとWSの中間)
- ・ 手続き紹介の音声動画サービス

## 生活

- ・ 学校と親の連携、連絡ツール
- ・ 支払い方法の自由度（電子決済等）
- ・ 大型ごみの廃棄を楽に
- ・ 消防の通報を位置情報で
- ・ 必要なものを勝手に届けてくれる

# アウトプットサマリー： デジタルを最大限活用して、一人ひとりの幸せが マシマシした京都市が爆誕！！



## 解決に向けた動き

- ・ 市役所のWSで現状を共有し対策に動き出す
- ・ 車内の混雑状況をカメラで写す  
→ プライバシーの壁
- ・ 乗るときにICカードをかざしてもらい、乗車数を把握  
→ 予算の壁
- ・ サーモグラフィで温度を把握し混雑度を測る  
→ 官民連携で実証実験しよう！

## 現状の課題

- ・ 観光地へ向かうバスが満員で乗車できない
- ・ 次のバスを待っても乗車できるか分からない

?



★バスの到着を待たずに、アプリで混雑状況が確認できるように



# アウトプットサマリー： デジタルを最大限活用して、一人ひとりの幸せが マシマシした京都市が爆誕！！



## 現状の課題

- ・ 入園できる保育園を探している
- ・ 電話で各保育園に問い合わせるしかない状況
- ・ 市役所に相談するも対応できず

## 解決に向けた動き

市役所のDX推進会議で何かできないか？

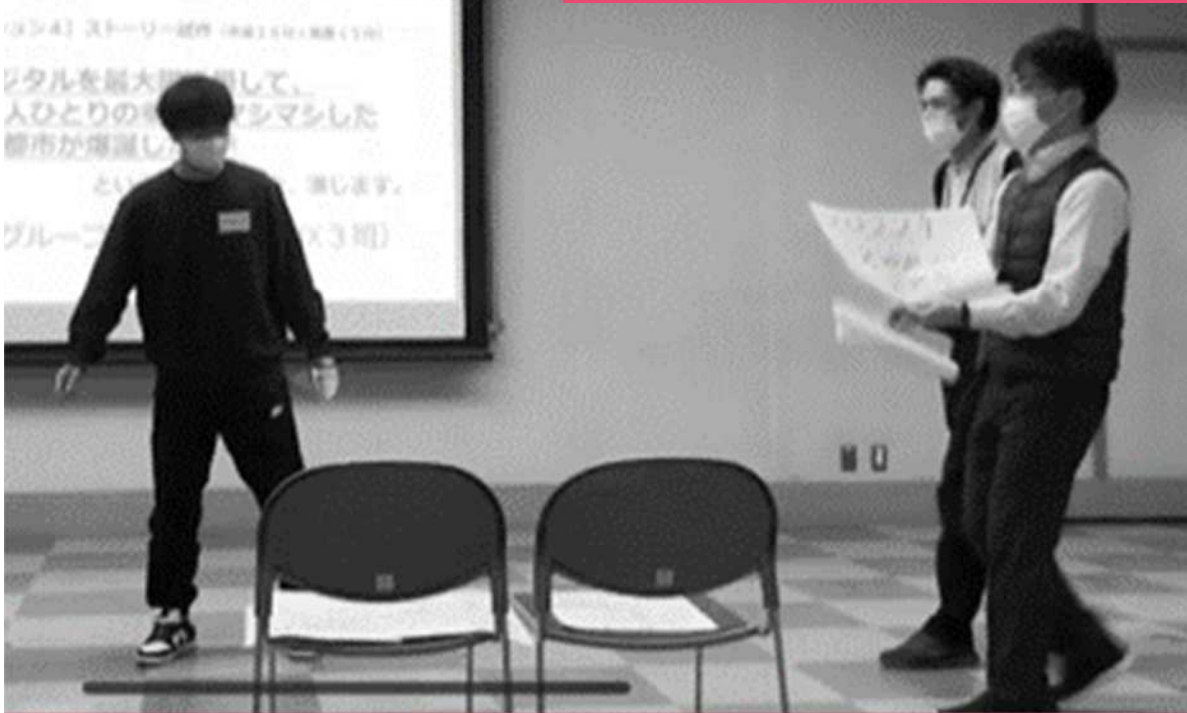
→即、DX推進会議に相談

→担当課がA I を作成

→情報を入力していくと、条件に合う保育園の空き状況が確認できる

→同時に予約も可能に

# アウトプットサマリー： デジタルを最大限活用して、一人ひとりの幸せが マシマシした京都市が爆誕！！



## 現状の課題

- ・子どもが急に明日学校へ雑巾を持っていくと親に伝える
- ・購入するために自転車で移動中、事故を発見
- ・通報するも正確な場所を伝えられない

## 解決に向けた動き

- ・購入するために自転車で移動途中に事故を発見
  - 通報が手軽かつ位置情報も送ることができる
- ・購入を忘れて家に帰るも必要物品が届く
  - 学校での必要物品の情報を共有しており配送される
  - 支払いもキャッシュレスでOK

Q.今日のワークショップを終えて  
DXに対する考えについて教えてください。

- |              |    |
|--------------|----|
| ・ 積極的に取り入れたい | 9名 |
| ・ もっと知りたい    | 2名 |
| ・ 興味を持った     | 2名 |
| ・ 変わらない      | 0名 |

⇒DXに対してはポジティブな意見が多い

Q.市民が入れるDXラボがあったら入りたいですか？

- ・ 入りたい 10名
- ・ 一定の条件があったら入りたい 2名
- ・ 入りたくない 1名

⇒市民のDX機運の醸成は方法次第で十分可能

## ①市民はDXに関する知識はまだまだ少ないが、 関心がある人が多い

### 市民のDXについてのイメージ

- ・ 共有（情報をまとめるも含む）や検索をするのに優れている
- ・ 手間を省略できる
- ・ わからないことが減る
- ・ 案内してくれる（チャットサービスや手続きの説明動画）

⇒単なるデジタル化ではなくDXのとおり行動も変革している

⇒デジタル（DX）は自分事化して考えやすい話題

- ②こんなことをしてほしいというニーズは多方面と連携しないとクリアできない
- ③民間企業と連携・協力してできるサービスは多そう

アウトプットを例にすると・・・

<多方面との連携>

- ・バスの混雑状況→交通局や予算・個人情報・技術面での課題
- ・保育園への入園→各保育園や子ども若者はぐくみ局との連携
- ・学校の必要物品→学校・教育委員会や親との連携

<民間企業との連携>

- ・サーモグラフィー技術の活用
- ・デリバリーサービスの拡大・活用

日常の

会話

非日常の

対話

## (今回の体験)

- ・ 行政の思いを伝えながら、市民と一体となって考える
- ・ 新たな自分の思いを持って帰ってもらふことで、次のアクションにつながる

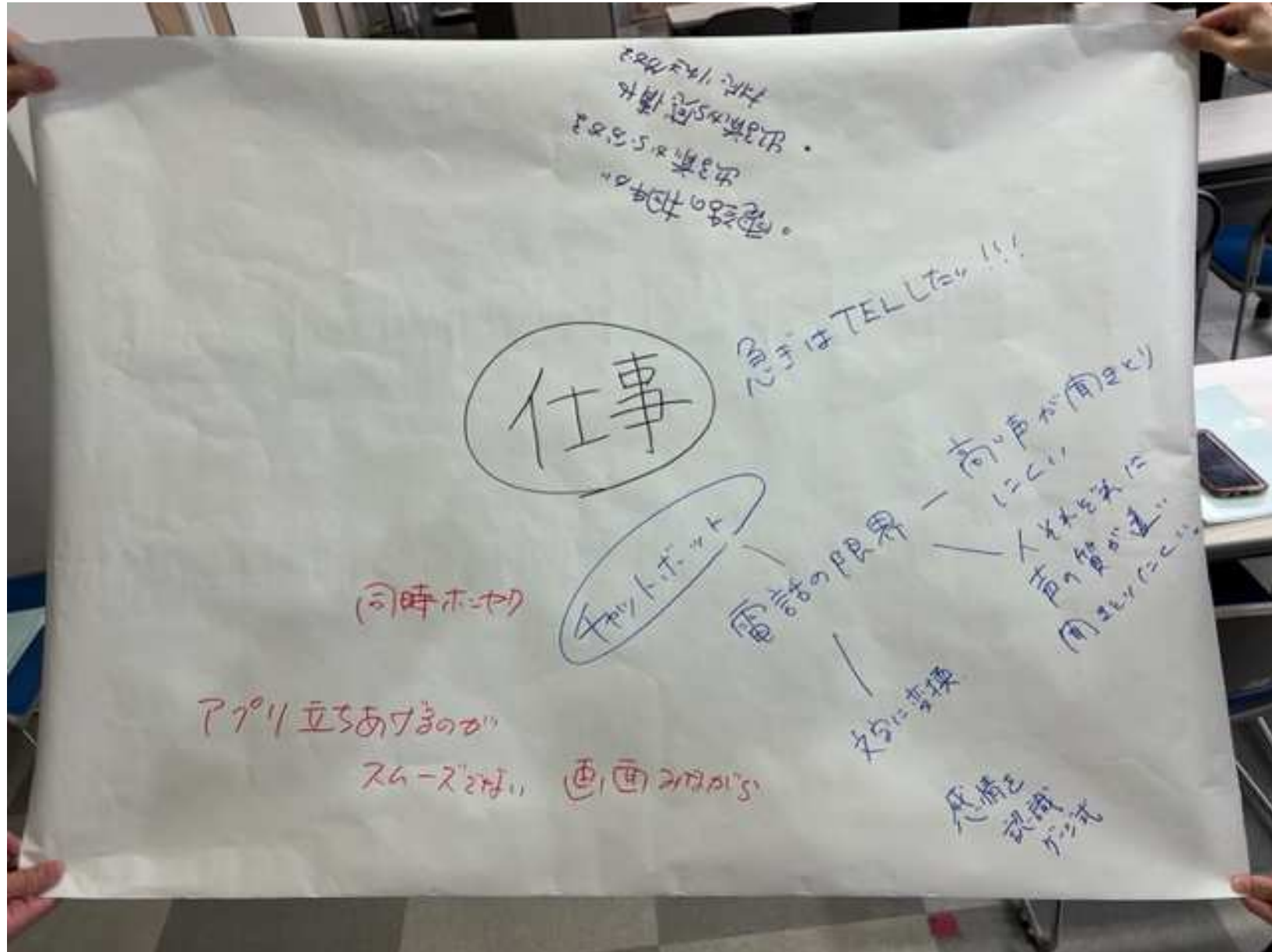
市民主体の  
**対話**の場へ

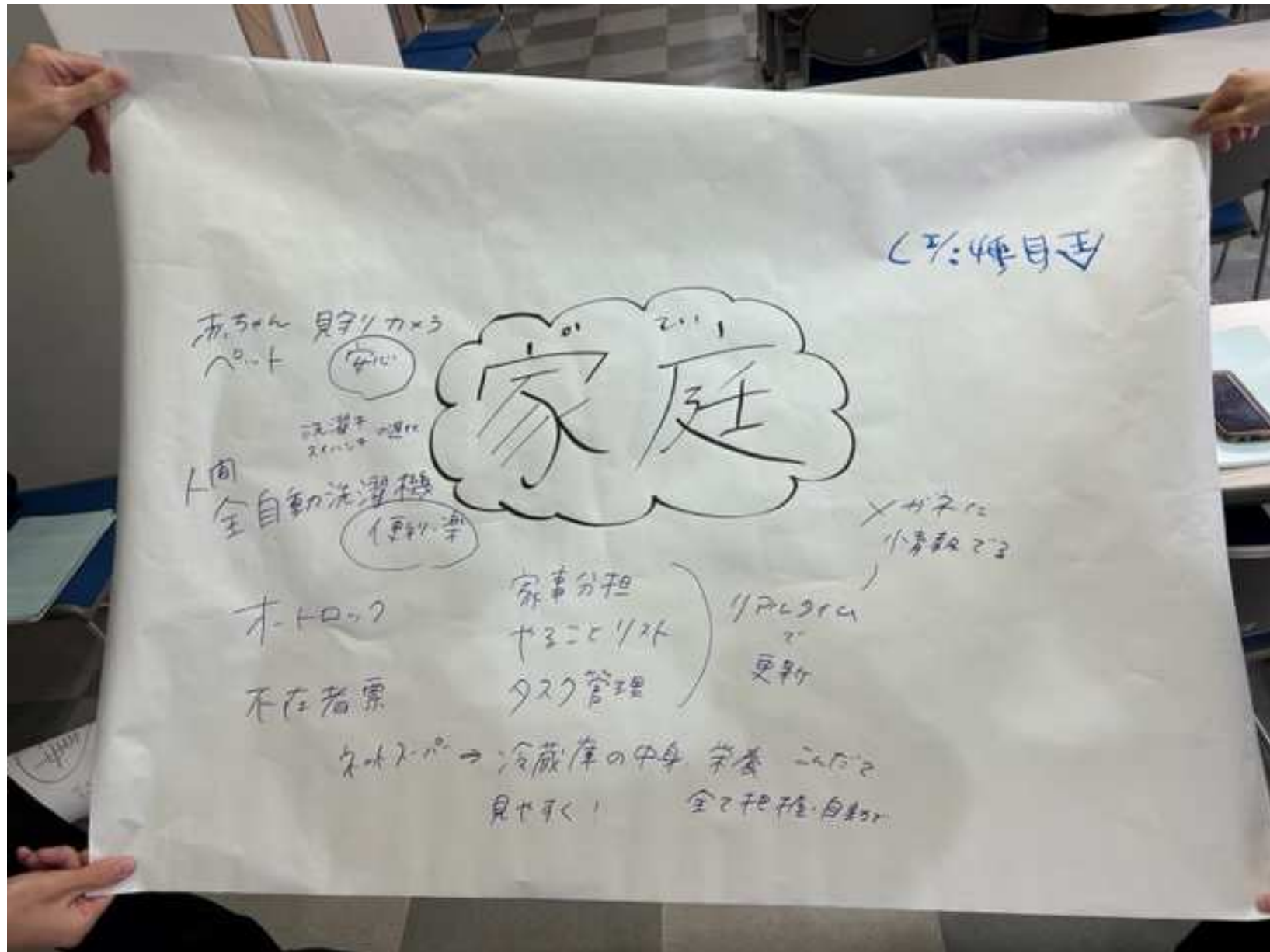
市民と行政が、互いにできることを考える

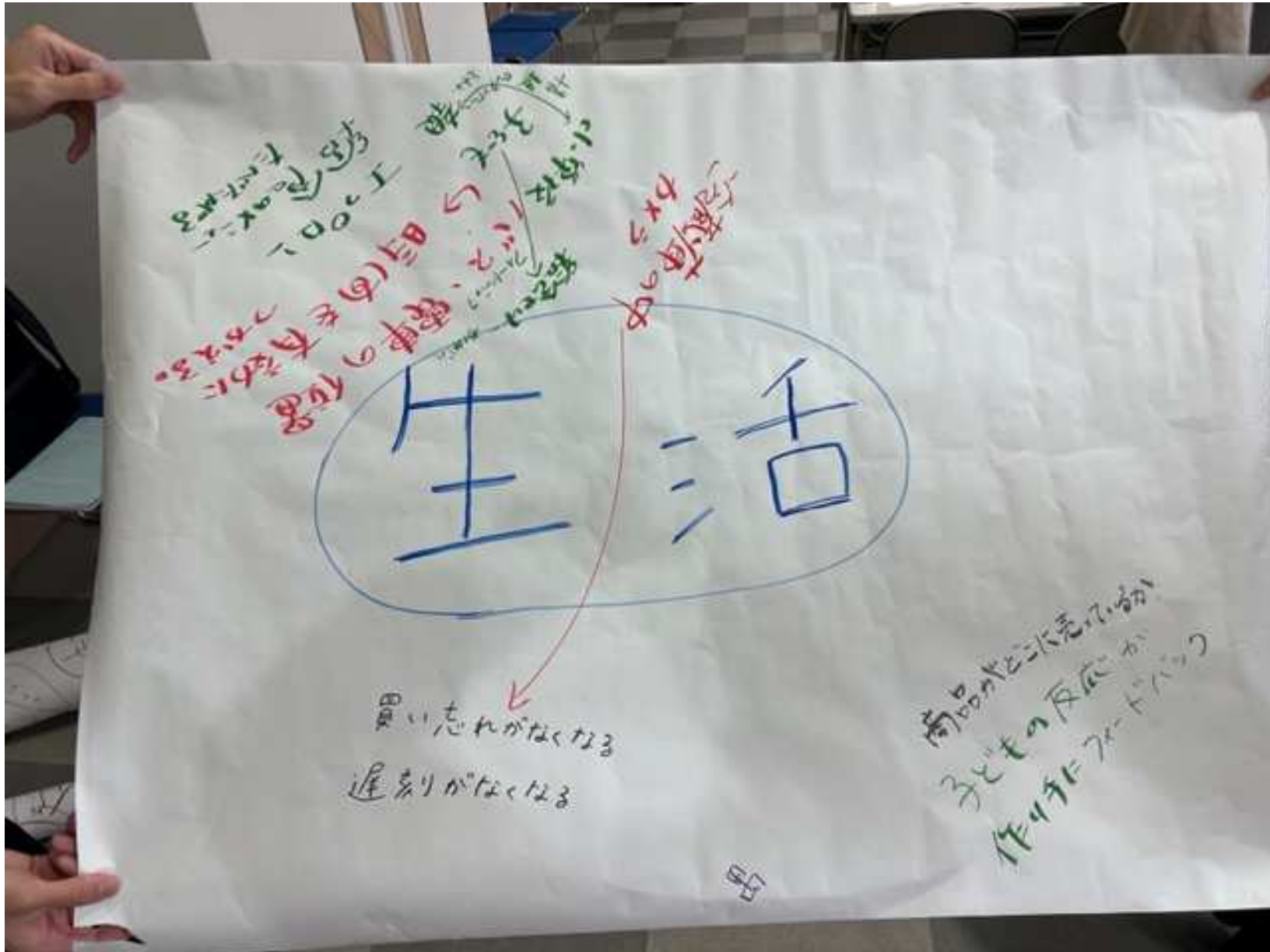
非日常の対話の場を作る

市民主体を感じてもらえるような、場の設計やファシリテーションを行う！










京都DXラボにデジタル化してほしいもの!

1. 保育園の空き状況
2. 役所の混み具合
3. 病院 診察科の一覧
4. 役所案内アプリ(対応課)
5. チャットサービス
6. 役所 コンシェルジュ
7. 図書館 本の予約優先順位
8. パブリックとWSの中商みたいな  
意見募集ツール miro
9. 公共料金支払い情報
10. 手続き音声・動画サービス  
紹介
11. ゴミ分類

京都DXラボにデジタル化  
してほしいもの

- 全庁共有カレンダー
- 問合せ先のキーワード検索
- 上手に④覧板を④覧で使うツール
- オンライン申請 (完全に)
- どこに何があるか/わからない  
(資料)
- ④答案が~~あったら~~をつくらせる
- バスの混み具合を知りたい  
↳観光地、バスを待たせたのみに混み具合
- 混み具合を色んなシーンで知りたい
- 京都市民向けのお得なスポットを  
教えてくれる (おいてる時を教えてくれる)
- 温度センサーで混み具合を測りれば  
プライバシーの問題クリアして④ま?  ④

DXラボに「シフト」  
 していいか (はる)

1. 学校と親の連携
2. 支払の方法の自由度  
 ( 駐輪場, 小銭払い )
3. バス-電車の位置
4. 消防通報 (住所がわかる)
5. 大型ゴミ捨てるのに
6. 足りないものを勝手に届けてくれる。

- 7.
- 8
- 9
- 10

